

ゆかりの寺シリーズ その13

黒田官兵衛 ゆかりの寺
「寶池山西蓮寺（浄土真宗本願寺派）」



西蓮寺本堂

天正16年(1588年)に光心師によって開山。

光心師の俗名は、黒田市右衛門であり、黒田官兵衛考高（黒田如水）公の末弟で、父・黒田美濃守職隆の逝去時に出家。

黒田官兵衛が播州から中津に入国した際、兄・官兵衛の御徳を慕い共に中津に入り、寺町に西蓮寺を建立し初代住職となり、以来400年以上の長きにわたり、この地で法燈を伝えている。

現在の本堂は天保14年(1844年)に再建されたもので、金剛棟札によると発起人は八才の童子・播磨屋助次郎となっている。

この童子が山国川から小石を運び、立派な本堂を建てる用意をしていることを聞いた総代・小畠親民は深く感激し、財を投じて再建に尽力した。

本堂は、再建当時の藩主であった第8代・奥平昌服が茶会を催したり、能が舞われた場所でもある。



西蓮寺門



西蓮寺内陣



寺宝：大鷲図、寿老人と鶴図、襖絵

本堂内の換気を徹底し、参拝者にはマスク着用及びアルコール消毒液の使用をお願い致します。

*お接待当番 井ノ邑地区
講師 中村啓誠師（本願寺布教専従員）

十二月 二日（金）
午後一時半～ 読經（正信偈）
午後二時～ 法話
午後四時 法要終了



（昼席のみ法要開催の予定）
「報恩講」（善教寺本堂）

（善教寺本堂）

（善教寺本堂）

講師 広幡康祐師（吳市安浦町信楽寺）

午前九時～ 読經（正信偈）
午前九時半～ 法話
午前十一時半 法要終了

（朝席のみ法要開催の予定）
「護持会報恩講」（善教寺本堂）
十月二十二日（土）

（日時を変更して法要を勤めます）
「宗祖聖人月忌・門信徒祥月命日法要」（善教寺本堂）
十月十七日（月）午後一時半～
*毎月十六日に本堂において勤めております。

